

## 都市大女子4連覇 バレー



長野日大との決勝でアタックから得点を上げる都市大塩尻の堀内

### 県高校総体

県高校総合体育大会は8日、県内各地でバレーボールとバドミントンを行った。バレーボールは諏訪郡下諏訪町の下諏訪体育館で男子の準決勝と決勝があり、男子は創造学園が

岡谷工を2-0で下し、女子は都市大塩尻が長野日大を2-0で退けてそれぞれ優勝し、中信勢がそろって

全国高校総体(インターハイ)出場を決めた。創造学園は3連覇、都市大塩尻は4連覇となった。(山浦雄一郎)

### 苦しみながらも地力発揮

都市大塩尻は苦しみながらも地力を発揮して4連覇を果たした。決勝は2-0のストレートで快勝したものの、松商との中信勢対決となった準決勝はフルセットにもつれる接戦に。焦りから大事な場面でミスが出て流れに乗り切れなかった。岡田隆安監督は「気持ちをコントロールすることが大事」とインターハイに向けて戒めた。

準決勝はサーブレシーブが決まらず、持ち前のコンビバレーが影を潜めた。

た。それでも試合の中で課題を修正できる力はさすがで、勝負を懸けた最終セットを25-16で取り、勢いそのままに決勝を制した。昨年の主力は少なく、コンビバレーの要のセッターも1年生と若いチーム。だが、個々の能力は高く、伸びしろへの期待は大きい。センターの堀内玲楠(3年)は「まだ未完成のチーム。もっとプレーの精度を高めた」と全国を見据えた。

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。